

次へ向かう力を

第8号 令和5年 3月 発行者 江頭

西南学院大学ラグビー部保護者様並びに OB・OG の皆様、
お世話になっております。

3年マネージャーの中原・江頭と申します。

日ごとに暖かさを感じられる季節となりましたが、いかがお過ごしでしょうか。

今回の『次へ向かう力を』では、
“卒業”をテーマに4年生から「これまでの感謝と社会人の抱負」を頂いています！
また、コーチ陣からのメッセージも掲載していますので、
是非最後までご覧ください♪

☆「これまでの感謝と社会人の抱負」☆



☆ 安藤大一斗(Daito Ando)

保護者・OBOG・コーチ陣の皆様西南学院大学
ラグビー部のサポートをしていただきありがとうございます
ございました。社会人では何事にも全力で取
り組み、オンとオフの切り替えを上手くできる
人でありたいです。

❁ 池田開 (Kai Ikeda)

OB・OGの皆様をはじめ、全ての関係者に感謝しています。ラグビー部には心身ともに大きく成長させていただきました。この4年間で培った力を社会に出てからも存分に発揮し、周りから頼られる人間になります！



❁ 清水文月 (Futsuki Shimizu)

西南学院大学ラグビー部への多大なるご支援、本当にありがとうございました。社会人ではラグビーで培った諦めない心を持ち続け、消防士として1人でも多くの命を救える人間になります。



❁ 宮原僚汰 (Ryota Miyahara)

保護者、OB・OG、コーチ陣の皆様、4年間多大なるご支援がありラグビーを取り組めました。ありがとうございました。社会人では、仕事に責任と誇りを持ちながら社会に貢献していきます。



❁ 峰松忠彦 (Tadahiko Minematsu)

OB・OG、コーチ、仲間、親など多くの方に支えられて、4年間部活を行うことができました。ありがとうございました。人として確実に成長できたこの4年間の経験を社会人になってからも活かして頑張ります。



❁ 結城大介(Daisuke Yuki)

保護者の皆様、OB・OGの皆様、これまでたくさんの応援・サポートをありがとうございました！これからも目の前の仕事に全力で取り組み、公私共に充実した社会人生活を送れるよう頑張りたいと思います！



❁ 竹下郁哉(Fumiya Takeshita)

保護者の皆様をはじめ、OBOGなど多くの方々のご支援のおかげでラグビーをすることができました。本当にありがとうございました！社会人になっても「優しく、素直にひたむきに」をモットーに仕事に励みます！



❁ 末田晃生(Kosei Sueta)

4年間たくさんの人に支えられ、とても楽しく充実した日々を過ごすことができました。この4年間の経験を活かし、立派な大人になれるように精進していきます。ありがとうございました！



❁ 中村太一(Taichi Nakamura)

OB・OGをはじめ、沢山の皆さんに支えられたおかげで4年間楽しくラグビーをすることができました。本当にありがとうございました。これからは自分が誰かの支えになれるように努力していきたいと思います。



❀ 熊原一希(Kazuki Kumahara)

OBOG など多くの方々の多大なるご支援があり、4年間ラグビーに取り組むことが出来ました。ラグビー部で培った粘り強さを活かして、社会人になっても頑張ります。



❀ 原野吹雪(Fubuki Harano)写真左←

4年間沢山の方々に支えられて、西南ラグビー部マネージャーとして活動できたこと、本当に感謝の気持ちで一杯です。社会人になっても芯はブレず、カッコよく、人に優しく在りたいなと思います！

❀ 真田友衣子(Yuiko Sanada)写真右→

素敵な先輩、後輩、同期、沢山の人々とお出合えて充実した時間を過ごせたことは大学生生活の忘れられない思い出になりました。社会人になったら自立したカッコいい女性になります！



❀ コーチ陣からのメッセージ ❀

❀ 岡田 佳 ヘッドコーチ

2023年 卒業を迎える4年生とご家族の皆さまへの挨拶

【前文】

春の訪れを感じながら、いよいよ卒業と旅立ちの季節となりました。ご家族の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。これまで4年間、西南ラグビー部にご理解とご協力をいただき、心より御礼申し上げます。

今年卒業するラグビー部員は、2年生からコロナ禍と戦ってきました。対面授業が無くなり、もちろん練習は禁止。人と会う機会が大幅に減少した日常生活に加え、お互いに何をしているのか、自分は何をしているのか、分からなくなるような大学生活を強いられました。しかし、オンラインでのミーティングや、短時間で効率的な練習方法など活動内容を工夫し、いかなる苦境でも前進し続ける西南スピリットを、後輩達に継承してくれたと思います。

これから社会人として、経験を重ね成長してくれることを心より祈念しております。

※あいうえお順に記載しています。

安藤 大一斗 フランカー

1年生の時からレベル高いラグビーをするプレーヤーでした。特にタックルにおいては九州トップクラスで、学年が上がるごとにその精度は増していきました。それと並行して、ラグビーに対する考え、リーダーとしての考えも成長していき、4年生ではキャプテンとしてチームを牽引してくれました。グラウンドで円陣を組んでいるときに『ラグビー＝助け合いだ』と明言している姿を見てキャプテンを任せて間違いはなかったと感じたことを鮮明に覚えています。

最終戦ではアクシデントがあり、後半の残り10分をセンターとして出場して、ビッグタックルを見せてくれました。熱くなりました…

特別に足が速い訳でもなく、体力があるわけでもなく、筋力が高い訳でもないのに、試合になれば、ゲームの中で一番タックルし、ボールキャリアでゲインをして、毎試合、高いレベルでのパフォーマンスと仕事量を発揮し、これぞラグビーだと、背中で見せてくれました。(誤解のないように補足しておきますが、練習では常に最善を尽くしていました)

チームで1番のラグビープレーヤーであったことと、キャプテンとしてチームを去年よりもレベルを上げた事も間違いありません。

これからも頼り、頼られる『人』であって欲しいと思う。ありがとう。

池田 開 プロップ1

入学当初から声と身体が大きく、とても爽やか印象でした。

前に出るタックル、惜しみなく体と張れるスタイルで、非常に頼りがいのある男でした。スクラムではプロップとして、峰松と共に本当に一生懸命に取り組み 1つの形を作ってくれました。これからも西南ラグビー部のベースになることでしょう。9月17日に膝のケガをして、怪我以降の試合に出場することが出来なくなったことは、そんな男だっただけに非常に残念な出来事でした。しかし、その経験が次のステージで必ずあなたを成長させることが出来ると信じています。

あるときに「西南ラグビーはどうかね？」と尋ねたところ、高校時代は部員が少なく練習もままならない状態だったから、たくさんの人数でラグビーが出来るだけでも楽しいと話してくれました。安藤も同じようなことを話していました。だから、二人とも感謝の気持ちを忘れずにいつも真摯な態度でグラウンドに立って、ラグビーと向き合い、人と向き合っているのだと感じました。やはり経験が人を成長させることを改めて知る機会をくれました。ありがとう。

熊原 一希 フランカー ラグビー未経験

コンタクトをしたくて、入部したと話してくれました。未経験なのに体を当てることに恐怖心がなく、ヘッドアップの癖がなかなか直らずに見ている私がヒヤヒヤしていました。ケガをしない・・・キャリーにすればとにかく掴まえて、何とか倒すことをしてくれました。未経験者だから、とにかく筋力トレーニングをして、体重を増やしていますと話してくれました。それを4年間継続して試合にも出場しました。あなた自身が未経験者であることと、周りとの差を考えて今できることを考えて、行動して、準備したにあなたの人としての強さと成長を感じていました。ありがとう。

竹下とアフター練習でワンパス→ショートランの練習をしていましたね。それを試合で出して、ラインブレイクしたときに思わず、ベンチで『これよ！』と叫んでしまいました。

清水 文月 ウイング フルバック

トータル的にバランスの取れた万能タイプのプレイヤーでしたが、周りへの要求が苦手な印象がありました。ラグビーはいいランコースでもタイミングがズレれば成立しない、パスもしかり、ベーステクニクの不足している西南となると、その指摘や要求がその都度でないとスタンダードレベルが上がらず、文月の良さが無くなってしまおうと話したことを覚えています。4年生になり、率先して練習の準備や練習報告をしてもらい、発言することや、真剣に取り組む姿を示し、パスはチームトップ3に入る程うまくなりました。一人一人がベーステクニク(ここではパス)一生懸命に練習していたことが、やっと形になりました、それは外まで回してウイングでボールを持ってキャリーするシーンです。ベーステクニクとやりたい事が繋がった瞬間でした。ありがとう

気づく・考える・指摘する・要求する・指摘を素直に聞き入れる・習得する、次のステップでとても重要なスキルになるかと思うので、変わらぬ努力を期待しています。

末田 晃生 ウイング

いつもどこかを痛がっている印象です。(笑)

しかし、タックルは低く突き刺さるいいものを持っています。

ウイングで独走して、そのまま走って外にパスをする瞬間に(2:1)相手にタックルされてしまって、ターンオーバーをされてから、あなたは本当の意味でラグビーに練習に取り組み始めたターニングポイントと私は捉えています。

それは、ウイングとしてそのシチュエーションになったのは、FW がボールを争奪してBK へ、内の選手のパス・ハンドリング・ランがうまくいったからボール回ってきたこと(練習による上達)それらを理解すれば、【自分の役割や責任があること】に気づけるからです。そして、

全体を見て必要なテクニック・スキルを最初から予測して準備すれば結果は変わること理解したからだと思います。次のステージでもそれらの経験を思い切り発揮してください。成長した姿を見せてくれてありがとう。

竹下 郁哉 ロック 8

ロックからの順目移動しながら AT のタイミングが良い選手でした。

膝の故障を抱えながらの4年間のラグビーになりましたが、あなたがお陰で、スタートメンバーが思い切りプレーすることが出来ました。西南学院大学ラグビー部は人数が少ないので一人一人の役割が大きくなります。熊原と一緒に何かしらアフター練習する姿を見てはスタートメンバーに上がって来てくれと心の中で思っていました。そして、その姿を仲間たちが見て、マネしてほしいと願っていました。地味に見えるかもしれませんが、本当にしんどい時や、刹那の瞬間の動き、判断は時間を掛けて積み上げたものしか出ないと私は思っているの、そんな背中を熊原と見せてくれてありがとう。

中村 太一 センター ウイング

人にとっても強く、足の速いプレーヤーでした。ライン DF は下手でしたが…(笑)

1年の時の独走しての右隅への TRY の時に肉離れをしてから、ケガを繰り返すようになってしまいました。

最終学年での目標は『ケガなく公式戦に全て出場する』でしたが、開幕戦の福岡大学には目標通りに出場しましたがその時にケガで交代、その後、復帰するも体調不良なども重なって目標通りにはいかないシーズンでしたが、試合に出れば、縦に行けるプレーヤーとして非常に重要な役割を担い、結果を残してくれるプレーヤーでありました。あなたの次のステージでは特に、大学で1番悩んだ【コンディショニングを整えること】が重要なので、必ず社会人で生かしてください。ありがとう。

峰松 忠彦 プロップ 3

全試合に出場している選手です。西南に峰松あり の選手です。

口数が少なく、自分の中で一生懸命にやっているから、問題ないでしょうと思ってプレーしている印象でした。それから大きく成長してくれました。スクラムと共に…

周りに指示を出し、指摘し、特にFWを牽引してくれました。ありがとう。
相乗効果でしょう、フィールドプレーも抜群に良くなりました。PRでカットインしてきたプレーヤーにドンピで入れるようになり、私が興奮して、話したら、「そうですか？横が前に出てくれていると出来そうですよ」と淡々と答えてました。上達していくときは1段飛ばし2段飛ばして上達していくものだと感じました。そして、峰松の言葉の中にあるように、周りが当たり前のプレーをしないと自分もいいプレーが出来ないことが示されていたことが重要で、ラグビーでも仕事でも同じであり、まずはラグビーで体験していることをうれしく思います。是非、次のステージでもその経験を活かしてください。
卒業するにあたり、あなたの学んだスクラムのすべてを文章化、言語化してくれないかと依頼しました。素晴らしい内容でした。ありがとう。

宮原 僚汰 スタンドオフ

キック力のある選手で身長もあるプレーヤーでした。
自分が動くタイプでまわりを動かす(ラインの上げ下げなど)のは苦手な印象でしたが、キックでエリアを取っていきたいチームとしては待ちに待ったバックスプレーの入学でしたが、入学と同時に肩のリハビリをスタートし、2年生でコロナによる規制生活が始まりなかなか思うように練習が出来ない中で、先を見据えての平田コーチによるクロスフィットのレクチャーを受けてもらった一人です。(熊原もやりました平田塾)時間を作って取り組んでくれました。非常に効果が
何事もそうですが、まずは正面から受け止めることは大切です。しかし、それを違う角度で見る・考えをすることも重要で4年間掛けて少しずつ理解してくれたかと思えます。中村・結城・宮原の180cmの⑩⑫⑬で4年になったときにNo.1バックスを作ろうと話したことを覚えています。
試合のあとのプレッシャーから解放される顔が印象的でした。
乗り越えてくれてありがとう。

結城 大介 色々

結果的にたくさんのポジションをしてもらいました。あなたがいなければ今年は機能しないバックスラインになっていたでしょう。ありがとう。

ラグビー大好き子で、身体能力の高さでボールを持って走り回る印象でした。好きすぎて色々試したくなるタイプだったので、精度が無いものでも試合で使ってしまうところがありましたが、好奇心・挑戦は非常に重要なので、個人練習で精度が上がってから使用するよう釘をさしたのを覚えています。最終学年になり、ラグビーの理解度が高くなってきて、やりたい事・やれない事・必要なもの・周りが必要なこと・周りの為に自分がしなくてはならない事のイメージが付き始めて、本当の意味でラグビーの話が出来るようになったのはうれしい成長でした。まだまだ上手になります。ラグビー

の理解度と共にプレーも相乗効果で一気にレベルアップするはずですが、次のステップでまた精一杯、楽しんでください。

持ち前の明るさでチームを引っ張ってくれて、ありがとう。

原野 吹雪 ・ 真田 友衣子 マネージャー

シーズン終了して最後の meeting で、後輩たちへ残した言葉が印象深かったです。ありがとう。

スタートは 2021 年シーズン終了したからです。マネージャーmeeting を重ねました。毎週1回で5回実施しました。

私がチーム一丸になりたいと思っていたこと。コロナの影響もあり、チームとしての接点も少なくなっていた点が大きくありました。マネージャー自身もプレーヤーとマネージャーとコミュニケーションを増やして、もっとチームとしての活動したいと思っている事を知ったからです。

テーマは

何をするのか？

何ができるのか？

何を必要としているのか？何が足りないのか？

どうしたいのか？

それなあったから、次のシーズンに向けて検証できます。本気で考えれば、何かが変わります。目標や目的が明確であれば、頑張れます。やらない人にはならないでください。

次のステージで、更なる飛躍を期待しています。

❀ 平田 幸靖 コーチ

令和 4 年度卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

また、本日まで立派にご子息を育ててこられた保護者の皆様にも、心よりお祝いを申し上げます。

最後までラグビー部を応援して頂きありがとうございました。

四年生へ

4 年間のラグビー一部生活お疲れ様でした。

2021年 12月 31日

ラグビー部としての時間を明確にするというミーティングを行い、社会に出て求められるものを身につけるためにラグビーを行う。

1人1人責任感を持ち全力で取り組む。

安藤キャプテンが、サインプレーを成功させるという表現を使って話してくれました。

そんな新チームが始まり、各々が目標を持って活動した中で、就職活動での話を教えてくれた人がいました。

『体重管理の話面接でしました!!』

という内容です。

とても好評だったと嬉しそうに話をしてくれた事が印象的でした。

自分に足りない部分を理解し、自分と向き合う時間を積み重ねて改善する。

体重管理はまさに日々の積み重ねです。

すぐ結果に出ないトレーニング、食事、体重の増減は社会に出て必要なことではないかもしれませんが、本気で取り組んだプロセスは取り組んだ者にしか語れないことです。

立派に面接で話せるまで頑張ったこと、出来た・出来なかったという結果ではなく、そのプロセスを築くことができる人材を企業は求めているのかもしれませんが。

社会・企業から求められるものがラグビーから身につけていたのかもしれませんがね。

とても嬉しい報告でした。

ラグビーに限らず、目標に向かい努力する時間はこれからも同じです。

皆さんは社会人として立派にスタートできると信じています。

身体に気をつけてこれからも頑張ってください。

❀ 4年生の先輩方へ ❀

ご卒業おめでとうございます。

これまで多くのことを教えて頂き、心から感謝しています。

ラグビーに本気で打ち込む先輩方をとても尊敬しています。

常に、私達に格好良い姿を見せて下さり、ありがとうございました。

先輩方が卒業してしまうのは寂しいですが、

新しい環境でのご活躍お祈りしております。

❀ 後輩一同より ❀

**その他、SNS 等でも
情報発信しております！**



Instagram…部員紹介や、通常の練習風景を配信！

★ユーザーネーム:seinanrugby ★アカウント名:西南学院大学ラグビー部



現役ホームページ…スケジュールや、戦績、メンバー紹介を配信！

★<https://seinangakuinrugby.wixsite.com/seinan-rugby>